

■解説

豊かな伝統文化をもち、西太平洋に美しく 散りばめられた島々からなるインドネシア は、東南アジア第一の大国であるが、一口 にインドネシアと言っても、その建国の スローガン「パンチャ・シラ(多様性の 統一)」が象徴するように、この国は、 それぞれに異なった文化、社会背景を もつ多様な民族から構成されている。

この映画の舞台となるスマトラ島 スマトラ島 は、インドネシアで二番目に大きな島 である。広さは日本の本州の二倍ほど で、島のほぼ中央を赤道が通り、熱帯の 美しい自然に囲まれている。昔ながらの焼畑 農業やプランテーションにたよる人々のくらしは、 一般に豊かとは言えないが、古い伝統が生き続けている社会 も、寄生虫駆除や環境改善、家族計画など、身近な生活向上 をめざす運動を通じて、徐々に変化している。

この映画は、スマトラ島のいくつかの町や村を訪ね、それ ぞれに異なった地域社会のくらしや、人々のものの考え方を、 生活改善に取り組む民衆の姿を通して捉え、記録したもので ある。

製作

株式松映面社

東京都渋谷区代々木1-57-1 代々木センタービル 〒151 TEL03(3320)6311 FAX03(3320)7666 ■あらすじ

スマトラ島西部の炭鉱町サワルントの診療所に、ある日 ひどい貧血症の坑夫が運びこまれた。調べてみると、

寄生虫が素足で働く坑夫の足から感染し、実に坑夫 の70%が貧血症になっていたのである。これは単 に坑夫だけの問題ではなく、町中で寄生虫駆除を 始めとする大規模な生活改善運動が始まった。 さらにフィールドワーカーたちの努力と工夫で、 この運動は周辺の農村にも広まり、村人たちの 意識も次第に高まっていった。

母系性社会の伝統が守られているタラビ村では、 その伝統を理解し生かしていくことが生活改善を計 るためのカギとなった。村では初めての便所が作られ、

人々は栄養にも気を配り始めたのである。このようにして 宗教も文化も異なる様々な町や村で、人々の生活と意識は、古 い伝統を残しながら、ゆっくりとしかし確実に変わっていくの であった。

■スタッフ

製作 村山英治

脚本 村山正実

演出

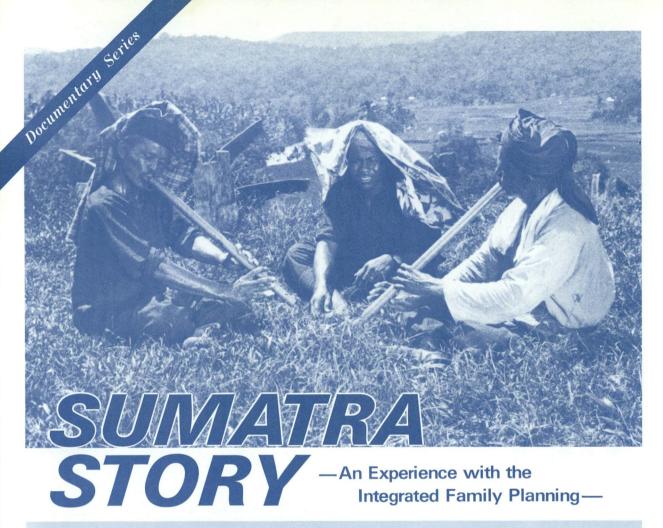
撮影 小林一夫 北川英雄

広瀬量平 音楽

鈴木瑞穂 解説

アジア映画シリーズ-

- ①インドネシアの母たち
- ③村に生きるスラベシ島の人々
- ④カラモアンわが村
- ⑤カティワラ(フィリピン)
- ⑥アメナ(バングラデシュ)
- ⑦菩提樹の下で(スリランカ)



16mm Color / 34 min. / English, Japanese Directed by Sakura Motion Picture Co., Ltd. Standard Bldg., 22-1, Nishi-Shinjuku 1-chome, Shinjuku-ku, Tokyo 160, Japan Phone: 342-5768 Cable: SAKURAMOVIES TOKYO

A spotlight on a coal mining town in Indonesia which succeeded in upgrading the people's lives through the promotion of the Integrated Project.

SYNOPSIS

This story starts with a zoom up of the small coal mining town of Sawahlunto, located in the western part of Indonesia's second largest island, Sumatra.

One day, a coal miner was carried into the town clinic: he had collapsed from anemia as a result of parasite infection. In fact, examinations revealed that over 70% of all the coal miners were suffering from anemia caused by parasites.

This led to a large-scale parasite elimination campaign in Sawahlunto, and the staff of the town clinic worked hard to eradicate infection routes. They conducted rounds of mass deworming, stopped the

miners from working barefooted and motivated the people to think about the importance of health and hygiene.

This movement expanded to the neighboring farming villages including the matriarchal society of Minang Kabu, and with the help of field workers, people gradually acknowledged the true meaning of a happy and healthy life. Latrines were constructed and the villagers started to think about nutrition.

While respecting the old traditions of rural Indonesian villages, the Integrated Project has helped the people to improve the quality of their lives.

Japanese Organization for International Cooperation in Family Planning (JOICFP)



Hoken Kaikan Bekkan, 1-1, Sadohara-cho, Ichigaya, Shinjuku-ku, Tokyo, 162 JAPAN

Phone: 268-5875/Cable: JOICFPJAPAN TOKYO